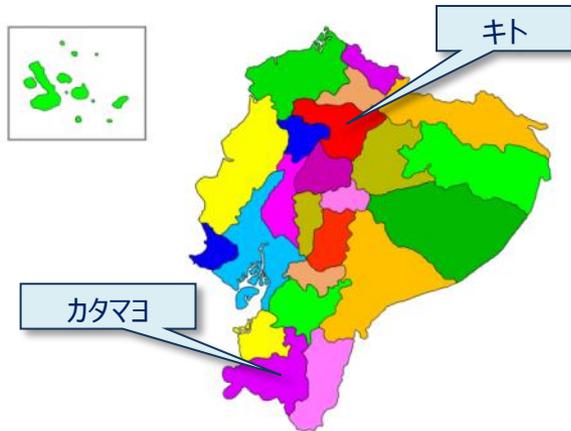


「カタマヨ市ゴミ処分施設機材整備計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「カタマヨ市ゴミ処分施設機材整備計画」のための、当館とカタマヨ市による贈与契約署名式が行なわれました。

ロハ県カタマヨ市は、人口30,638人を有していますが、市内で排出されるゴミ（固形廃棄物）は、市営のゴミ処分施設にて埋め立て処分されています。同市において1日あたりに排出されるゴミ約17トンのうち、有機ゴミは、堆肥（コンポスト）化を行い、生産された堆肥は、同市が緑化事業並びに年再活性化事業の一環として実施する公園建設等において活用されています。しかし、約4割を占める紙、プラスチック、金属、ガラスなどの無機ゴミに関しては、ゴミの中から有価物やリサイクル可能なものを手作業で拾い集める程度の作業を行っていますが、再利用可能ゴミの回収率は悪く、大半は埋め立て処分せざるを得ない状況です。

本計画は、再利用可能ゴミ分別場に新たに機材を整備することにより、分別作業効率及び回収率の向上、リサイクルの促進及び地域のゴミ削減を通じた環境改善に貢献しようとするものです。



供与額： 8,174,826円
贈与契約締結日： 2014年3月12日

計画実施前



署名式

